

公益財団法人日本スポーツ協会 国民体育大会委員会 (平成30年6月14日)
における決定事項について

平成30年(2018年)6月14日(木)に開催された公益財団法人日本スポーツ協会国民体育大会委員会において、以下の事項が決定された。

1 国民体育大会の名称変更について

	現 行	改 正 後
大会名称	「国民体育大会」	「国民スポーツ大会」 ※スポーツ基本法の一部改正による
英語表記	「NATIONAL SPORTS FESTIVAL」	「JAPAN GAMES」
略 称	「国体(こくたい)」	「国スポ(こくすぽ)」
そ の 他		※回数：昭和21年(1946年)開催の第1回大会からの回数を継続(通算回数) ※適用大会(年)：平成35年(2023年)開催の第78回大会(冬期：未定、本大会：佐賀県)から適用

※平成36年(2024年)大会については、「第79回国民スポーツ大会」となる。

2 第78回以降の「国民体育大会における2020年オリンピック対策・実行計画」対象種目の取扱について

- 平成26年(2014年)6月に決定された「国民体育大会における2020年オリンピック対策・実行計画」に基づき、平成28年(2016年)・第71回大会(岩手県)から平成34年(2022年)・第77回大会(栃木県)までの間、正式競技として段階的に導入・実施されている対象競技・種目・種別について、平成35年(2023年)・第78回大会(佐賀県)以降も実施することが決定された。
- 各競技の参加人員については、原則として同計画導入以前(平成27年(2015年)・第70回大会(和歌山県))の各競技の参加人員の範囲内とすることとされ、(公財)日本スポーツ協会および各中央競技団体において現在調整中。

【対象競技・種目・種別】

競技	種目	種別
水泳	水球	女子（成年少年共通）
	オープンウォータースイミング	男子（成年少年共通） 女子（成年少年共通）
ボクシング		成年女子
バレーボール	ビーチバレーボール	少年男子
		少年女子
体操	トランポリン	男子（成年少年共通）
		女子（成年少年共通）
レスリング		女子（成年少年共通）
ウエイトリフティング		女子（成年少年共通）
自転車	トラック・ロード	女子（成年少年共通）
ラグビーフットボール	7人制	女子（成年少年共通）